



豊橋市美術博物館収蔵品展

中村正義をめぐって



中村正義
「舞妓」
1962(昭和37)年

2012年12月22日(土)～2013年2月10日(日)

休館日/月曜日・年末年始(12月29日～1月3日) 会場/2階全展示室

出品作家/中村正義・中村岳陵・我妻碧宇・森緑翠・浅田蘇泉・伊東隆雄・永井繁男・畔柳赫・白井青淵・石川華香
平川敏夫・大森運夫・高畑郁子・星野眞吾・三上誠・大島哲以・山下菊二・佐熊桂一郎・斎藤真一



豊橋市美術博物館

〒440-0801

愛知県豊橋市今橋町3-1

TEL.0532-51-2882

FAX.0532-56-2123

豊橋市美術博物館収蔵品展

中村正義をめぐって

豊橋出身の中村正義は当初、中村岳陵に師事して日展画家として活動を開始しましたが、やがて旧態依然とした日本画壇に対峙し、異端・鬼才・風雲児などさまざまな呼び名で称されるようになります。伝統に抗い、挑発的な表現によって日本画を解体しようと試みたその姿勢は、戦後の日本美術においても特異な存在とされてきました。多彩で精力的な活動によって52歳の短い生涯を燃焼するかのよう駆け抜けた正義は、一方で若い才能を見出し、世に出そうと奨励した側面も持っています。郷里においては平川敏夫・大森運夫・高畑郁子・星野眞吾とともに中日美術教室を開設して若い画家たちに生活の基盤を与え、相互に研鑽を積んで当地の画壇にひとつのエポックを築き上げたほか、世に認められることなく病没した三上誠の才を惜しみ、回顧展の開催に力を尽くしました。

本展は正義の代表作を中心に構成するほか、こうした交友関係にも着目し、相互に影響を及ぼした作家の作品もあわせて紹介します。師・岳陵や森緑翠・我妻碧宇など同門の作家たちをはじめ、日本画の革新を目指した同志というべき星野眞吾、正義の影響で画家を目指した平川敏夫・大森運夫・高畑郁子、星野とともに創立した美術グループ・从会の同時代の作品を展観することで、あらためて正義の実像に迫りたいと考えています。



中日美術教室の写生旅行(1952年)
向かって右端より大森運夫、中村正義。左端より2人目に高畑郁子、バスの入口に星野眞吾。



大森運夫「ふきだまり」
1962(昭和37)年



平川敏夫「巖々湊林」
1961(昭和36)年



三上誠「作品」
1966(昭和41)年



森 緑翠「顔」
1963(昭和38)年



星野眞吾「終曲」
1975(昭和50)年



高畑郁子「赤い花」1961(昭和36)年

記念対談

「中村正義をめぐる人々」

高畑郁子(日本画家)×中村倫子(中村正義の美術館館長)

日時:1月19日(土)午後2時～ 会場/豊橋市美術博物館 1階 講義室

ボランティア・ガイド

1月8日(火)～2月10日(日)

(1月19日を除く毎日2回/午後1時半～・2時半～)

関連事業

ドキュメンタリー映画上映

「父をめぐる旅 ～異才の日本画家・中村正義の生涯」

日時/2012年12月26日(水)午後2時～/午後7時～(102分)

会場/豊橋市公会堂

シネマネスト JAPAN <http://www.cinemanest.com/masayoshi/home.html>

鑑賞料/1500円(前売1200円)・中高生1000円(前売800円)

※前売券は豊橋市美術博物館・豊橋市民文化会館・豊川堂本店・精文館書店本店
ほの国百貨店・アピタ向山店にて販売中

後援/豊橋市・豊橋市教育委員会・豊橋市美術博物館友の会

豊橋市美術博物館

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)

TEL.0532-51-2882 FAX.0532-56-2123

<http://www.toyohaku.gr.jp/bihaku/>

【交通案内】

JR・名鉄:「豊橋駅」下車・豊鉄渥美線:「新豊橋駅」下車

▶豊橋駅東口より豊鉄市内線(市電)乗車▶「豊橋公園前」下車▶徒歩3分

